

品番 AE-92105・92106・92107・92108・92109・92110・92122・92123
 92124・92125・92132・92133
 AU-65213・65214・65220・65221・65227・65228
 WEE964129・964130・WUE464192・AUE464243

NU01-20 OR

保存用


- ・ご使用前にこの取扱説明書をよくご覧の上、正しくご使用ください。
- ・器具の取付工事は、必ず工事店・電器店(有資格者)に依頼してください。一般の方の電気工事は、法律で禁止されています。
- ・ご使用後廃棄される場合は、清掃回収者への安全面に十分配慮して処理してください。
- ・工事店様・電器店様へ・・・工事終了後、この取扱説明書はお客様に必ずお渡しください。

■取付前に必ず確認してください

⚠ 警告

- 異常な振動や衝撃、腐食性ガスや可燃性ガス、粉じんの影響の受ける場所では使用できません。
→火災・感電・落下・錆びの原因になります。
- サウナ風呂等の高温場所では使用できません。
→火災・焼損・やけどの原因になります。
- 指定の電球以外は使用しないでください。
→焼損・過熱・変色の原因になります。
- 器具や電球を布や紙等でおおって使用しないでください。
→火災・焼損・過熱・故障・変形の原因になります。
- 器具を改造したり、部品を追加・変更して使用しないでください。
→感電・落下・焼損・過熱・変色の原因になります。
- 電球外管が割れた場合は絶対に点灯しないでください。
→感電の原因になります。
- 電源の接続は取扱説明書に従って確実にこなしてください。
→接続が不完全な場合、故障の原因になります。
- 器具の取付けは器具重量に耐える場所に取扱説明書に従って確実にこなしてください。
→取付けに不備があると落下・けがの原因になります。
- アース端子(線)が付いている器具は必ず電気設備の技術基準に従って、接地(アース)工事を行ってください。
→接地工事が不完全な場合、感電・絶縁不良の原因になります。

⚠ 注意

- 寒暖の差の激しい場所では使用しないでください。
→感電・絶縁不良・電球破損・器具内部の結露の原因になります。
- 点灯中及び消灯直後は器具や電球が高温になっていますので素手で触らないでください。
→やけどの原因になります。
- 器具の定格電圧と電源電圧を必ず確認してください。
→間違って器具に過電圧を加えた場合、電球の短寿命及び火災・過熱の原因になります。
- 器具に注意シールが貼り付けされている場合はその指示に従ってください。
→守っていただかないと火災・感電・落下・けが・故障の原因になります。
- ケーブル線は人の通る場所では露出しないように処理してください。
→ケーブル線を引っ掛け、絶縁不良・けが・ケーブル線の損傷の原因になります。

この取扱説明書のマークについて SAFETY INFORMATION

警告 説明書中の「警告」は人身事故の原因になる危険を示します。

WARNING A WARNING IN THE MANUAL DENOTES A HAZARD THAT CAN CAUSE INJURY OR DEATH.

注意 説明書中の「注意」は器具破損の原因になる危険を示します。

CAUTION A CAUTION IN THE MANUAL DENOTES A HAZARD THAT CAN DAMAGE EQUIPMENT.



このマークのついている説明文は必ず守ってください。
KEEP THE NOTICE WITH THIS MARK.



このマークのついている説明文は特に注意してください。
BE CAREFUL THE NOTICE WITH THIS MARK.

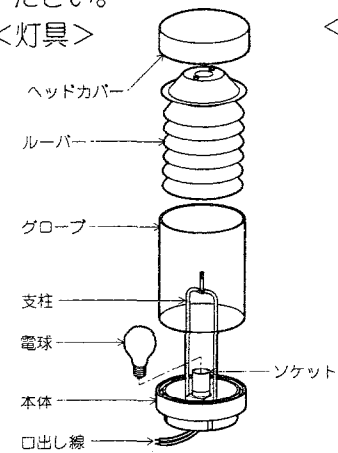
裏面も必ずお読みください。

このたびはコイズミ照明器具をお買上いただきましてまことにありがとうございます。

■各部の名称 (この図は一部抽象化した共通部品図です。)

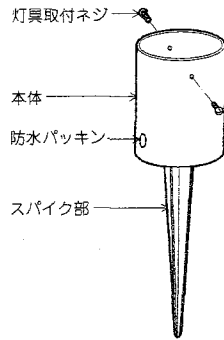
△ 部品の有無・損傷を確認し、不備の際は取付けないでください。

< 灯具 >



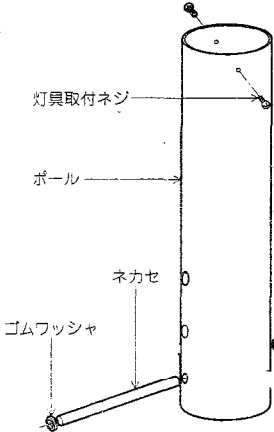
品番 AU-65213・65214・65220
65221・65227・65228
WJE464192・AUE464243

< スパイク >



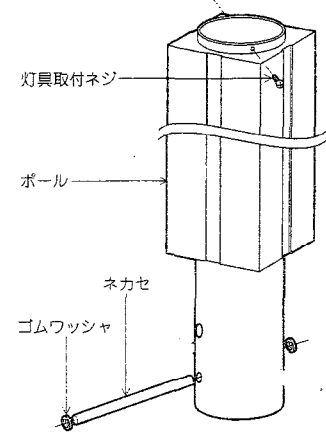
品番 AE-92107
92108
92124
92125

< ポール >



品番 AE-92105・92106・92109・92110・92122・92123
92132・92133
WEE964129・964130

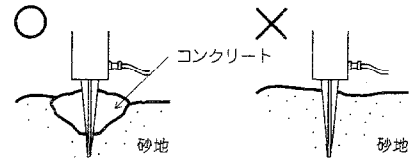
< ウッドポール >



■取付けの際に特に守ってください

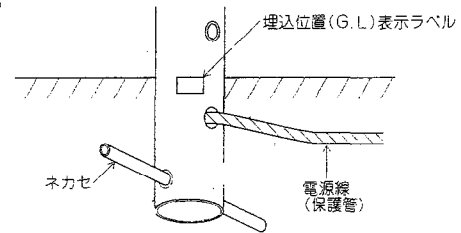
△ スパイクを取付ける場合

スパイク部は一杯に押し込んでください。スパイク部は土壌のしっかりした所へ押し込んでください。砂地等の土質の柔らかい場所に押し込む場合はコンクリート等でスパイク部を固定してください。配線工事は必ずD種(第三種)接地工事を施してください。



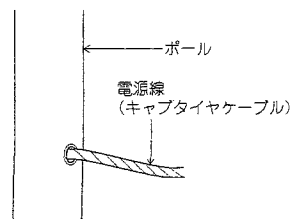
△ ポールの取付け

・ポール下部の挿入穴にネカセを挿入してください。ポールは埋込表示ラベルがかけれるまで埋め込んでください。ポールは土壌のしっかりした場所へ設置してください。砂地等の土質の軟らかい場所に設置する場合は、コンクリート等でポールの埋込部を固定してください。配線工事は必ずD種(第三種)接地工事を施してください。
・施工に関しては、電気設備基準・内線規定に従ってください。

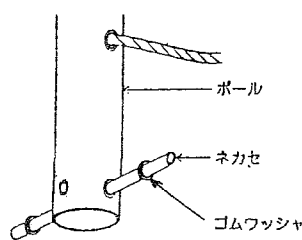


■器具の取付順序・ポールの場合

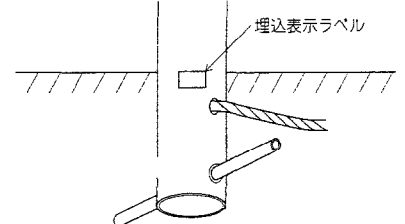
① 電源線(キャブタイヤケーブル)を電源穴からポールに通してください。



② ネカセを埋込部に差し込んでゴムワッシャで止めてください。



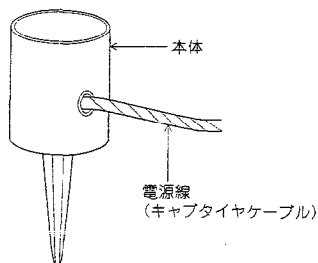
③ 埋込表示ラベルがかけれるまで埋め込んでください。



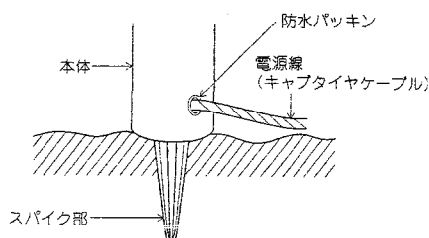
● 灯具の取付けは、■灯具を取付ける場合をご覧ください。

■器具の取付順序・スパイクの場合

① 電源線(キャブタイヤケーブル)を電源穴から本体に通してください。



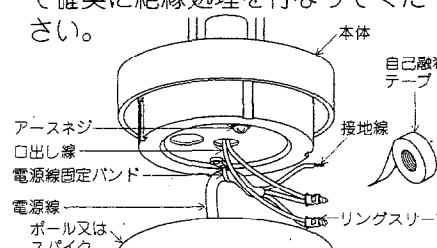
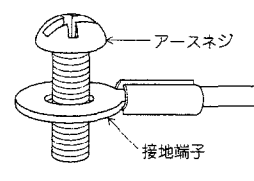
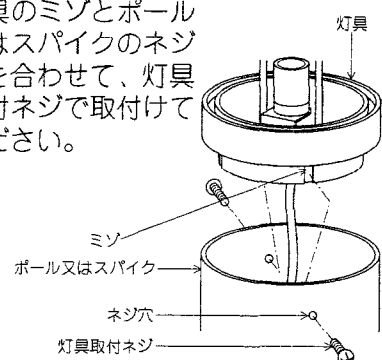
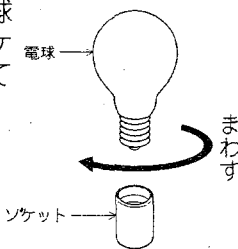
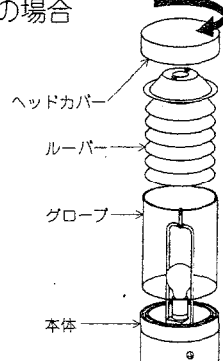
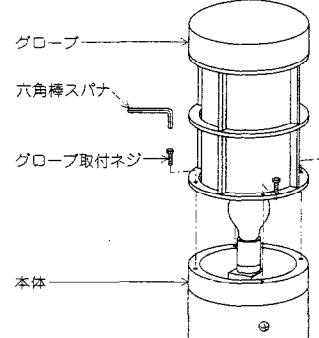
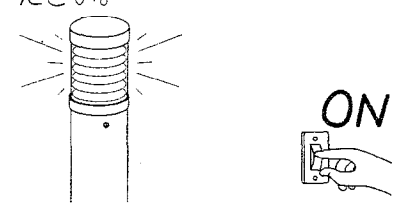
② スパイク部を完全に地中に埋め込んでください。



● 灯具の取付けは、■灯具を取付ける場合をご覧ください。


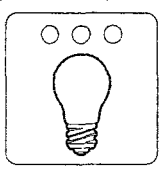
取扱説明書をよくご覧の上、正しくご使用ください。また、不明な点は必ずお問い合わせください。

■ポール・スパイクに灯具を取付ける場合

<p>① 電源線を電源線固定バンドで本体に固定し、電源線と口出し線をそれぞれ接続して自己融着テープ等で確実に絶縁処理を行なってください。</p> 	<p>② 必ずD種(第三種)接地工事を行なってください。</p> 	<p>③ 灯具のミゾとポール又はスパイクのネジ穴を合わせて、灯具取付ネジで取付けてください。</p> 
<p>④ 器具の指定電球を確認し、ソケットに取付けてください。</p>  <p>⚠ 電球の取付けは丁寧に、確実に行ってください。破損・落下の原因になります。</p>	<p>⑤ スタンダードタイプ、ルーバータイプの場合 グローブ、(ルーバー)を本体に合わせてヘッドカバーを矢印の方向に回して取付けてください。</p> 	
<p>ガードタイプの場合 グローブを本体に合わせて、グローブ取付ネジを同梱されている六角棒スパナにて取付けてください。</p> 	<p>⑥ 電源を入れて、点灯を確認してください。</p>  <p>⚠ 点灯状態がおかしいときはすぐに工事店・電器店に連絡してください。素人工事は危険です。</p>	

■器具のお手入れ

- ⊙ぬれた手では絶対に行なわないでください。感電・故障の原因になります。
- ⚠必ず電源を切ってから行なってください。感電・やけどの原因になります。
- ⚠点灯中や消灯直後は器具や電球が高温のため危険です。しばらくしてから行ってください。
- ⚠安全に使用していただくために、約6ヶ月ごとに清掃・点検を行なってください。

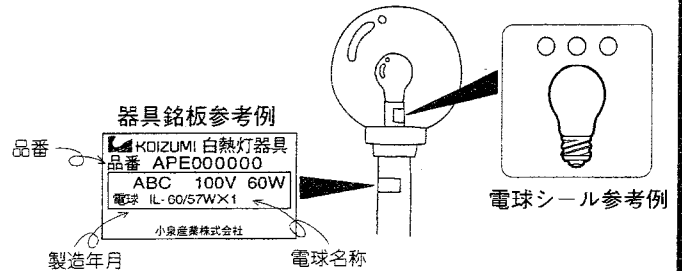
 <p>やけどのおそれあり</p> <p>点灯中や消灯直後の電球にさわらない</p>	<p>(1) 電球の交換方法</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 電源を切ってから行なってください。 ② グローブを■取付順序の⑤を参考に取外してください。 ③ ■取付順序の④を参考に指定の電球と交換してください。(指定電球は器具に表示してある電球シールをご確認ください。) ④ グローブを■取付順序の⑤を参考に取付けてください。 <p>(2) グローブのお掃除</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 電源を切ってから行なってください。 ② グローブを■取付順序の⑤を参考に取外してください。 ③ 乾いた柔らかい布等でグローブの汚れを拭き取ってください。 ④ グローブを■取付順序の⑤を参考に取付けてください。 	<p>電球シール参考例</p> 
-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------

△ この取扱説明書はいつでもご覧いただけるように大切に保存してください。

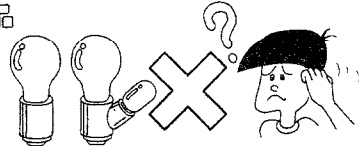
ご使用にあたってのご注意(一部仕様の異なる器具があります。) ⑯

保存用

◆品番・製造年月は器具銘板に記載されています。電球種類は器具の電球シールをご確認ください。交換用の電球は器具の指定のものを必ずご使用ください。



⊙ 器具を改造したり、部品を追加・変更して使用しないでください。



感電・落下・焼損・過熱・変色の原因になります。

⊙ 器具や電球を布や紙等でおおわないでください。火災・焼損・過熱・故障・変形の原因になります。

⊙ 器具のすきまや放熱穴等に金属類を差し込まないでください。

感電・故障の原因になります。

⊙ 点灯中および消灯直後は器具や電球が高温になっていますので素手で触らないでください。



やけどの原因になります。しばらくしてから取り扱ってください。

⊙ 器具の下にストーブ等の高温のものを置かないでください。また、燃えやすいものを近づけて使用しないでください。

火災・焼損・過熱・故障・変形の原因になります。

⊙ シンナーやベンジン等の揮発性のものでも拭いたり、殺虫剤をかけたらないでください。



変質・故障の原因になります。

⊙ 器具や電球に着色等をしないでください。焼損・過熱・故障の原因になります。

⊙ 器具をまるごと水洗いしないでください。感電・焼損・故障の原因になります。

△ お手入れや電球交換の時は必ず電源を切ってから行ってください。



通電のまま行なうと、感電の原因になります。

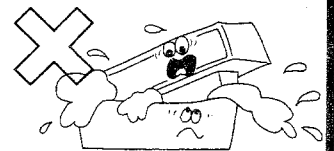
△ 器具から煙が出たり、変な臭いがしたときは、速やかに電源を切ってください。

放置しますと火災・落下・けがの原因になります。工事店・電器店にご相談ください。

△ 電球交換の際は、必ず器具表示および取扱説明書の指定の種類・ワット数の電球をご使用ください。

間違った場合、火災・やけど・故障・変形・変色の原因になります。

△ 器具の汚れは乾いた柔らかい布、または中性洗剤を浸透させた柔らかい布をよく絞ってから拭き取ってください。

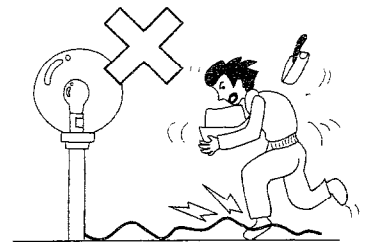


感電・焼損・故障の原因になります。

△ 点検・清掃時には、接合部にゆるみおよび器具や電球に損傷等がないかを確認してください。

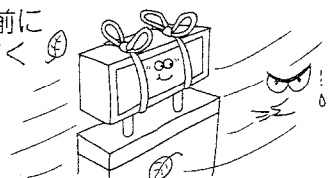
異常がありましたら、購入店にご相談ください。

△ ケーブル線は人の通る場所では露出しないように処理してください。



ケーブル線を引っ掛け、絶縁不良・けが・ケーブル線の損傷の原因になります。

△ 台風や強風の場合、事前に器具の点検・補強をしてください。



倒壊・落下・けが・破損の原因になります。

商品のお問い合わせは.....フリーダイヤル 0120-5123-02

99

修理・アフターサービスのお問い合わせは.....(電話番号は変更がある場合がありますので、その節はご容赦願います。)

- 北海道サービスセンター ☎011(813)4297
- 神奈川サービスセンター ☎0463(95)8008
- 関西サービスセンター ☎0729(85)5521
- 東北サービスセンター ☎022(236)4272
- 中部サービスセンター ☎0568(75)5931
- 岡山サービスセンター ☎086(298)3496
- 関東サービスセンター ☎0489(28)4381
- 北陸サービスセンター ☎0762(49)3205
- 広島サービスセンター ☎082(249)1018
- 九州サービスセンター ☎092(622)4010

小泉産業株式会社

照明事業本部 〒579-8025 大阪府東大阪市宝町12-8 ☎0729(86)5054